# 2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日


上場会社名　株式会社シンシア　　上場取引所　東
コード番号　7782　URL https://www.sincere-vision.com
代表者　(役職名) 代表取締役執行役員社長　(氏名) 中村 研
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員管理部長　(氏名) 荒井 慎一　TEL 03(5615)9059

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年12月期第3四半期 | 5,739 | 5.9 | 377 | △4.5 | 382 | 0.6 | 231 | △6.2 |
| 2025年12月期第3四半期 | 5,419 | 11.8 | 395 | 3.9 | 379 | 6.9 | 247 | 11.6 |

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　162百万円 (13.6%)　2025年12月期第3四半期　143百万円 (△26.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年12月期第3四半期 | 35.35 | ― |
| 2025年12月期第3四半期 | 38.16 | 38.15 |

(注) 2026年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年12月期第3四半期 | 5,334 | 2,896 | 54.3 |
| 2025年12月期 | 5,383 | 2,818 | 52.4 |

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期 2,896百万円　2025年12月期 2,818百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | ― | 0.00 | ― | 17.00 | 17.00 |
| 2026年12月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 2026年12月期(予想) | | | | 18.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前年期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,776 | 4.3 | 437 | △16.6 | 454 | △11.8 | 282 | 7.0 | 43.10 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

2026年12月期の連結業績予想につきましては、本日(2026年11月13日)公表の「業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年12月期3Q | 6,862,200 株 | 2025年12月期 | 6,862,200 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年12月期3Q | 285,841 株 | 2025年12月期 | 328,741 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2026年12月期3Q | 6,559,599 株 | 2025年12月期3Q | 6,477,065 株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

# １．当四半期決算に関する定性的情報

## （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物流業界における2024年問題への対応等を背景とした運送費用の高止まりや、深刻な人手不足に起因する人件費の上昇が続いております。さらに米国の通商政策を巡る不透明感、ウクライナ情勢や中東地域における地政学的リスクを背景としたエネルギー・原材料価格の変動など、外部環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。このような環境の下、当社グループは、外部環境の変化に対応可能な収益基盤の強化に取り組むとともに、お客様に寄り添った製品の提供に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、少子高齢化による人口減少が進行する中においても、１日使い捨てコンタクトレンズへの需要シフトや、高機能新素材を用いた付加価値製品の拡大により、１人当たりの購入単価は堅調に推移しております。加えて、スマートフォンをはじめとするデジタル機器のさらなる普及により、若年層を中心に近視人口の増加が続いております。近年では、カラーコンタクトレンズ市場の拡大に加え、EC販売や定期配送サービスの利用拡大など、消費者の購買行動やライフスタイルの変化も市場拡大を支えており、コンタクトレンズ市場は総じて堅調に推移しております。

このような環境の下、当社グループは、Webを中心としたマーケティング施策の強化等により「シンシア S」シリーズの処方施設における売上拡大を図るとともに、フリュー株式会社より譲受したカラーコンタクトレンズ事業の推進体制を拡充し、当社グループの事業の主軸であるコンタクトレンズ事業の基盤強化を図りました。コンサルティング事業については、昨今の医療脱毛クリニック業界全体における事業環境悪化を受け、サポート料を見直すなどの柔軟な対応を実施するとともに、新たに海外から日本に進出する企業を支援する「薬事コンサルティング事業」を本格始動いたしました。また、システム事業については、成長するリユース市場において、リユース業界向けPOSシステムのニーズも拡大しており、その需要を取り込むべく、「LINEミニアプリ」との連携や「DMM.Shops」等の大手Eコマースプラットフォームとの API連携を強化するとともに、営業体制及び開発体制の充実に取り組んでまいりました。さらに、今後の多様化する市場ニーズや技術革新へ迅速に対応し、さらなるシェア拡大を図るため、次世代を見据えた次期POSシステムの開発を推進しております。

このような状況下、当社グループの主力事業であるコンタクトレンズ事業が堅調に推移したことにより、売上高は5,739,532千円（前年同期比5.9％増）となりました。利益面では、コンタクトレンズ事業における原材料費の上昇や先行投資などにより、営業利益は377,366千円（同4.5％減）、経常利益は382,185千円（同0.6％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は231,900千円（同6.2％減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

（コンタクトレンズ事業）

当社ブランド製品につきましては、クリアレンズにおいて、シリコーンハイドロゲル素材のコンタクトレンズ「シンシアワンデー S」を中心に販売拡大に努めたものの、市場における競合製品との価格・販促競争の激化に加え、一部主要販売先における自社ブランド（PB）製品への切り替え等の影響を受け、乱視用及び遠近両用を含む「シンシアワンデー S」の売上高は1,134,636千円（前年同期比2.3％減）となりました。

この結果、当社ブランドクリアレンズの売上高は2,371,785千円（同7.2％減）となりました。

なお、高まる遠近両用ニーズへの対応と製品ラインナップのさらなる拡充を目指し、５月27日に高い酸素透過率を誇るシリコーンハイドロゲル素材の新製品「シンシアワンデー S 遠近両用」を発売、９月16日には「見つめる世界を穏やかに。」というコンセプトのもと、1枚のレンズの中に「視力を補正する度数」と「手元を助ける度数」の両方が入ったリラックスレンズ「やすらぎワンデー」を発売し、市場浸透に努めております。

一方、カラーレンズでは、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンデー S クレシェ」の売上高が426,698千円（同25.8%増）と大幅に増加しました。また、「シンシア2ウィーク S クレシェ」も202,021千円（同6.7%増）と引き続き好調に推移しました。さらに、2025年３月に譲受したカラーコンタクトレンズ事業の寄与により、当社ブランドカラーレンズの売上高は1,046,535千円（同74.4%増）となりました。

プライベートブランド製品につきましては、クリアレンズの売上高が1,411,527千円（同1.1%増）となったものの、カラーレンズについては、114,874千円（同37.7%減）となりました。

他社製品につきましては、2025年３月に譲受したカラーコンタクトレンズ事業の寄与により389,048千円（同25.8%増）となりました。

これらの結果、コンタクトレンズ事業の売上高は5,338,607千円（同5.7%増）となりました。一方、原材料費の上昇等の影響により、セグメント利益は498,591千円（同2.7%減）となりました。

（コンサルティング事業）

コンサルティング事業につきましては、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックに対し、引き続き運営管理サポートを提供しております。自由診療市場における競争激化や消費者マインドの変化を背景に、当該業界を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いており、これを踏まえ当社においてもサポート内容及び報酬体系の見直しを実施しております。その結果、既存のクリニック向けコンサルティング事業の業績は、前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

一方、新たに海外から日本市場へ進出する企業を支援する「薬事コンサルティング事業」を本格的に開始し、当該事業においては順調に案件を獲得するなど、一定の成果が現れております。これらの結果、当セグメントの売上高は43,777千円（前年同期比75.1%増）、セグメント利益は23,043千円（同86.0%増）となりました。

（システム事業）

当社の子会社である株式会社タロスシステムズは、リユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーとして、成長するリユース市場において、営業体制及び開発体制の充実、さらなるサービス品質の向上に努め、拡大する需要を取り込みました。また、次期POSシステムの開発を新たに開始したことにより、開発関連コストが増加しました。その結果、売上高は357,147千円（前年同期比4.5%増）となった一方、先行投資負担の影響により、セグメント利益は54,042千円（同26.2%減）となりました。

## （２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は4,643,563千円となり、前連結会計年度末に比べ10,146千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が146,013千円、受取手形及び売掛金が114,500千円それぞれ増加したものの、外国為替差入証拠金が147,910千円、デリバティブ債権が77,999千円、その他に含まれる前渡金が33,469千円、商品が29,242千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における固定資産は691,259千円となり、前連結会計年度末に比べ38,525千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が22,699千円増加したものの、償却によりのれんが35,047千円、無形固定資産のその他に含まれる顧客関連資産が13,600千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は5,334,822千円となり、前連結会計年度末に比べ48,672千円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は1,947,475千円となり、前連結会計年度末に比べ74,169千円減少いたしました。これは主に買掛金が65,099千円、賞与引当金が27,033千円それぞれ増加したものの、１年内返済予定の長期借入金が返済により74,428千円、未払法人税等が65,411千円、その他に含まれる未払給与が38,710千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における固定負債は491,254千円となり、前連結会計年度末に比べ51,728千円減少いたしました。これは主にデリバティブ債務が20,153千円増加したものの、長期借入金が返済により86,254千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,438,729千円となり、前連結会計年度末に比べ125,898千円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,896,092千円となり、前連結会計年度末に比べ77,226千円増加いたしました。これは主に繰延ヘッジ損益が70,539千円減少したものの、自己株式の処分等により自己株式が33,909千円減少し資本剰余金が8,065千円減少したほか、親会社株主に帰属する四半期純利益231,900千円の計上及び剰余金の配当111,068千円により利益剰余金が120,831千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.3％（前連結会計年度末は52.4％）となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日（2026年11月13日）公表の「業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご覧ください。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2025年12月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,658,880 | 1,804,893 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,130,125 | 1,244,625 |
| 商品 | 1,094,286 | 1,065,043 |
| 貯蔵品 | 88,771 | 97,482 |
| デリバティブ債権 | 146,774 | 68,775 |
| 外国為替差入証拠金 | 339,850 | 191,939 |
| その他 | 268,689 | 244,401 |
| 貸倒引当金 | △73,668 | △73,599 |
| 流動資産合計 | 4,653,709 | 4,643,563 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 60,013 | 52,815 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 369,401 | 334,353 |
| その他 | 219,586 | 201,381 |
| 無形固定資産合計 | 588,987 | 535,735 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 32,690 | 55,390 |
| その他 | 55,113 | 54,270 |
| 貸倒引当金 | △7,020 | △6,952 |
| 投資その他の資産合計 | 80,784 | 102,708 |
| 固定資産合計 | 729,785 | 691,259 |
| 資産合計 | 5,383,494 | 5,334,822 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2025年12月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 99,729 | 164,829 |
| 短期借入金 | 1,150,000 | 1,150,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 217,912 | 143,484 |
| 未払法人税等 | 95,144 | 29,733 |
| 賞与引当金 | 15,969 | 43,003 |
| 株主優待引当金 | 5,946 | ― |
| その他 | 436,941 | 416,425 |
| 流動負債合計 | 2,021,644 | 1,947,475 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 464,682 | 378,428 |
| 長期預り保証金 | 13,000 | 29,200 |
| 繰延税金負債 | 65,301 | 63,473 |
| デリバティブ債務 | ― | 20,153 |
| 固定負債合計 | 542,983 | 491,254 |
| 負債合計 | 2,564,627 | 2,438,729 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 273,422 | 273,422 |
| 資本剰余金 | 285,975 | 277,909 |
| 利益剰余金 | 2,386,939 | 2,507,770 |
| 自己株式 | △200,964 | △167,054 |
| 株主資本合計 | 2,745,373 | 2,892,048 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | 98,918 | 28,378 |
| 為替換算調整勘定 | △25,424 | △24,334 |
| その他の包括利益累計額合計 | 73,493 | 4,044 |
| 純資産合計 | 2,818,866 | 2,896,092 |
| 負債純資産合計 | 5,383,494 | 5,334,822 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 5,419,307 | 5,739,532 |
| 売上原価 | 3,647,087 | 3,897,494 |
| 売上総利益 | 1,772,220 | 1,842,037 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,377,199 | 1,464,671 |
| 営業利益 | 395,020 | 377,366 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9,395 | 23,264 |
| デリバティブ評価益 | ― | 3,780 |
| 為替差益 | ― | 1,921 |
| その他 | 7,009 | 3,369 |
| 営業外収益合計 | 16,405 | 32,335 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,231 | 21,018 |
| デリバティブ評価損 | 3,870 | ― |
| 為替差損 | 249 | ― |
| 株式報酬費用消滅損 | 148 | 4,982 |
| その他 | 10,005 | 1,515 |
| 営業外費用合計 | 31,505 | 27,516 |
| 経常利益 | 379,920 | 382,185 |
| 特別損失 | | |
| 臨時損失 | ― | 32,482 |
| 特別損失合計 | ― | 32,482 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 379,920 | 349,702 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 125,807 | 110,936 |
| 法人税等調整額 | 6,976 | 6,866 |
| 法人税等合計 | 132,783 | 117,802 |
| 四半期純利益 | 247,137 | 231,900 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | ― | ― |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 247,137 | 231,900 |

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 247,137 | 231,900 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △103,018 | △70,539 |
| 為替換算調整勘定 | △1,075 | 1,090 |
| その他の包括利益合計 | △104,093 | △69,449 |
| 四半期包括利益 | 143,044 | 162,450 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 143,044 | 162,450 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | ― | ― |

## （３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | コンタクトレンズ事業 | コンサルティング事業 | システム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| コンタクトレンズ | | | | | | |
| 当社ブランド | | | | | | |
| クリアレンズ | 2,554,581 | ― | ― | 2,554,581 | ― | 2,554,581 |
| カラーレンズ | 599,998 | ― | ― | 599,998 | ― | 599,998 |
| プライベートブランド | | | | | | |
| クリアレンズ | 1,396,523 | ― | ― | 1,396,523 | ― | 1,396,523 |
| カラーレンズ | 184,398 | ― | ― | 184,398 | ― | 184,398 |
| 他社製品 | 309,172 | | | 309,172 | | 309,172 |
| その他 | 7,838 | ― | ― | 7,838 | ― | 7,838 |
| コンサルティング | ― | 25,000 | ― | 25,000 | ― | 25,000 |
| システム | ― | ― | 341,792 | 341,792 | ― | 341,792 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,052,514 | 25,000 | 341,792 | 5,419,307 | ― | 5,419,307 |
| 外部顧客への売上高 | 5,052,514 | 25,000 | 341,792 | 5,419,307 | ― | 5,419,307 |
| 計 | 5,052,514 | 25,000 | 341,792 | 5,419,307 | ― | 5,419,307 |
| セグメント利益 | 512,211 | 12,389 | 73,231 | 597,832 | △202,811 | 395,020 |

（注）１．セグメント利益の調整額△202,811千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | コンタクトレンズ事業 | コンサルティング事業 | システム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| コンタクトレンズ | | | | | | |
| 当社ブランド | | | | | | |
| クリアレンズ | 2,371,785 | ― | ― | 2,371,785 | ― | 2,371,785 |
| カラーレンズ | 1,046,535 | ― | ― | 1,046,535 | ― | 1,046,535 |
| プライベートブランド | | | | | | |
| クリアレンズ | 1,411,527 | ― | ― | 1,411,527 | ― | 1,411,527 |
| カラーレンズ | 114,874 | ― | ― | 114,874 | ― | 114,874 |
| 他社製品 | 389,048 | ― | ― | 389,048 | ― | 389,048 |
| その他 | 4,837 | ― | ― | 4,837 | ― | 4,837 |
| コンサルティング | ― | 43,777 | ― | 43,777 | ― | 43,777 |
| システム | ― | ― | 357,147 | 357,147 | ― | 357,147 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,338,607 | 43,777 | 357,147 | 5,739,532 | ― | 5,739,532 |
| 外部顧客への売上高 | 5,338,607 | 43,777 | 357,147 | 5,739,532 | ― | 5,739,532 |
| 計 | 5,338,607 | 43,777 | 357,147 | 5,739,532 | ― | 5,739,532 |
| セグメント利益 | 498,591 | 23,043 | 54,042 | 575,677 | △198,310 | 377,366 |

（注）１．セグメント利益の調整額△198,310千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．第１四半期連結会計期間より、コンタクトレンズ事業の顧客との契約から生じる収益を分解した情報について、従来「プライベートブランド」に含めておりました「他社製品」は管理区分の見直しにより新たな区分として表示することといたしました。これに伴い前第３四半期連結累計期間についても変更後の区分により作成しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 26,580千円 | 26,062千円 |
| のれんの償却費 | 47,354千円 | 35,047千円 |